

maiko^{violin}
古木佳祐^{contrabass}

2023 07月08日(土)

開場 19:30 night live

開演 20:00

(2ステージ入替無)(1drink=600)

MC=3300+2drinks order

CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



maiko

神戸市出身。3歳からバイオリンを始める。京都市立芸術大学音楽学部卒業。1999年4月、上京。ジャズバイオリニスト寺井尚子氏のライブに通いつめ、アドバイスを頂きながらジャズバイオリンの研さんを始める。1999年12月、第19回浅草Jazzコンテストでベストプレイヤー賞を受賞。2001年10月、横濱ジャズプロムナード、ライブ・コンペティション本選大会で向井滋春賞を受賞。2001年12月～2003年1月まで吉川よしひろのザチュエロアコースティックスに在籍、同時期フュージョンバンド Red Lotus でエレキバイオリンを演奏。そのリリカルでハートフルなプレイは、わが国ポピュラーバイオリンの第一人者中西俊博氏も絶賛。パーカッションの横山達治バンドに2004年11月～2007年9月まで在籍。2001年からの8年間で2,000回を超えるライブ・パフォーマンスを行い、自己のスタイルを確立する。2009年9月、洗足学園音楽大学ジャズコース非常勤講師に就任。2012年より『須藤元気率いる WORLD ORDER LIVE』国際フォーラムやNHKホール・武道館でのコンサートに参加。現在首都圏のライブハウスを中心に自身がリーダーのライブ活動をするともに、Trump、ジャズ撫子、SJS、P.O.N.他、多くのバンドやセッションに参加。ビバップ、スウィング、ECM、フュージョン、ラテンと幅広いジャンルにおいて、音色の美しさと熱い演奏が身上。コンポーザーとしての才能も高く、歌心あふれるオリジナルナンバーは好評を博している。スタジオやCM、イベント・パーティ等での演奏、学校公演、病院・施設でのボランティア演奏等、表現者としてさまざまなシチュエーションでのパフォーマンスを精力的に行う。また、自身が阪神・淡路大震災を被災した経験から、気仙沼や陸前高田等、被災地へボランティア演奏に赴いている。

古木佳祐

歌手の母、ピアニストの父の音楽一家に生まれ幼少の頃よりジャズ、ワールドミュージックに親しんで育つ。コントラバスを山下弘治氏に師事し、10代よりプロとしての活動を始める。人それぞれの作曲や音楽性への深い理解力には定評があり、ジャズを中心としつつも様々なジャンルのミュージシャンからも信頼を集めている。大野俊三(Tp) 山口真文(sax) 大西順子(p) 辛島文雄(p) 奥平真吾(Dr) 秋山一将(Gt) 大口純一郎(Pf)らのバンドへの参加や Adam Unsworth(hl) 増尾好秋(Gt) Kit Downs(p) Danny Grisett(p) Davy Moony(Gt) 大村亘(ds) 熊谷ヤスマサ(p) 松原慶史(gt) 等と共演。また、蕪木光生 EPICH, Libstems, 奥平真吾 The New Force, 山田玲 The KEJIME Collective, MELRAW 安藤康平(sax) 山本玲子 The Square Pyramid, octagon, 等のユニットにも参加。2020年に発表した自作のリーダーアルバム「GARDEN」の評価も高く、現在は "Keisuke Furuki Garden Quartet with Strings" の活動でストリングス編曲等にも力を入れている。自身の学び舎でもある代々木ルーツ音楽院で講師を勤め、他にも作曲家としてアーティストやバンドへの楽曲提供など国内外を問わず精力的に活動の幅を広げている。